

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

2020年4月 おおぎみこども園オープン!



4月4日（土）、大宜味村立おおぎみこども園の落成式典が行われました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、縮小した形となり、宮城功光村長は「本来ならこども園建設に携わった業者の方々もお呼びして、一緒にお祝いしたかったが残念。非常に素晴らしい園が完成した。こども園の先生方には、ここで子ども達の人間育成に励んでほしい」とあいさつし、宮城政信園長は「工期も遅れることなく、素晴らしい園でこの日を迎えられて良かった。新しい地でまだまだ戸惑うこともあるが、園児とともに職員一同力を合わせて頑張っていきたい」とあいさつしました。

その後、でいご組園児たちの元気いっぱいの踊りでこども園オープンをお祝いしました。



たんぽぽ（0歳児）



宮城はるか先生 野村利加子先生 平良さつき先生

乳児部主任 園長



新城真奈美先生 宮城政信先生

ちゅうりっぷ（2歳児）



宮城実加子先生 高江洲幸子先生 仲村和香奈先生 島袋瀬理奈先生 比嘉彩野先生

すみれ（1歳児）



比嘉彩野先生 稲福洋子先生

でいご（5歳児）



宮城かおり先生

ゆうな（4歳児）



宮城唯子先生

ひまわり（3歳児）



照屋千夏先生

幼児部主任



平良 望先生

調理員



宇良由香さん



新城あゆみさん

バス運転手（兼用務員） ALT（英語指導助手）



比嘉大悟さん



嵩原竹子さん



ピーター・エリック・ゼイムス先生

栄養士



比嘉大悟さん



嵩原竹子さん

おおぎみこども園 職員紹介

おおぎみこども園の職員32名です。フレッシュな顔ぶれからベテラン勢まで頼もしいメンバーが揃いました。元気いっぱいの子ども達とともに遊び学んでくれることを期待します!!

保育補助



山城成子先生



宮城みゆき先生



宮城さつき先生



島袋あや先生



高江洲悦子先生

預かり 代替



松本広子先生



前田友子先生



比嘉悦子先生



友寄順子先生

4月1日 おおぎみこども園入園式



でいご組さん元気に入場♪



大所帯です…



すぐに仲よし♡



たんぽぽさんも立派です



元気にお返事できました♪



今日からよろしくね♪

お歌も上手に歌えたよ



4月1日（水）、大宜味村立おおぎみこども園において入園式が行われました。真新しいこども園に入園したピカピカの0歳児から5歳児まで93名の園児たち。これまでの保育所や幼稚園とは違い大きな施設、たくさんの友だちにドキドキ、そわそわした様子が伺えました。宮城政信園長先生は「新しいこども園でいっぱい遊んでいっぱい食べて『元気いっぱい』、お友達と仲良くする、優しくする『おもいやりいっぱい』、好きなことをいっぱいする、本をいっぱい読む『かがやきいっぱい』の3つのいっぱいを作れるように頑張してほしい」とあいさつしました。新しい環境や雰囲気はまだ戸惑うこともあると思いますが、1つ1つゆっくり慣れて行って楽しい園生活を送ってください。

ぼくに続け～



新施設オープン!! ぶながやっ子ハウス学校敷地内に移転

4月6日（月）、大宜味小・中学校の敷地内に建設された大宜味村放課後児童クラブのオープンを祝ってオープニングセレモニーが行われました。

今年完成した新たな放課後児童クラブ。学校の敷地内と言うこともあり、放課後児童たちがそのまま施設に行くことができます。

オープンを祝い、宮城村長は「旧大宜味小の施設では子どもたちが放課後楽しく過ごしている姿を見て嬉しかった。今度は学校の敷地内。新しいハウスを活用して勉強に遊びに励んでほしい」と話し、ぶながやっ子ハウスの上原さんは「新しく素晴らしい施設。大変ありがたい。これからも大宜味の子どもたちをしっかり見守っていきたい」と喜びました。

オープニングセレモニーに参加したぶながやっ子の子どもたちはこの日、施設の中を見学。いろいろな部屋を見て回ったり、クローゼットを覗いたり、新しい家を探検して楽しみました。

6日にオープンした施設ですが、コロナウイルス感染拡大防止のため、現在学校が休校しているため、休校が解除するまでの間は旧大宜味小の施設で活動を行っています。



CHALLENGEDAY 2020 村内活動中止のお知らせ

5月27日（水）に予定していたチャレンジデーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国的な一斉実施は中止となりました。大宜味村においても今年度は取り組みを行いません。

なかなか外に出られず、運動する機会も減ってしまったとは思いますが、各々可能な範囲で体操やストレッチをするなど適度な運動を心がけ、リフレッシュしてください。

来年度頑張りましょう！ 大宜味村チャレンジデー実行委員会より

図書室情報 No.9 2020年（令和2年）5月

大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内）
大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

●利用状況累計4月の統計（4/23まで）●

- 登録者数…55人
- 来室者数…365人
- 来室者数…365人
- 貸出冊数…590冊
- 現在の蔵書数…4468冊・県立の本/500冊
- 来室者数…38人
- 貸出冊数…99冊

5月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況により図書室を閉室する場合があります。

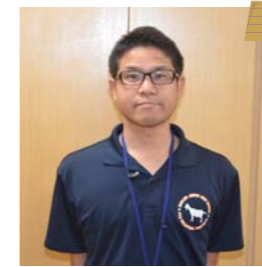
New Face

令和2年度 小学校・中学校・教育委員会職員紹介

今年度から新たに加わった学校職員、教育委員会の新しいメンバーです。大宜味っ子たちと共に学校生活を楽しみ、学び、支えてくれるを期待します!!



2年生担任 仲地杏実先生



体育 宮城史人先生



理科 松川達先生



校長 具志堅仁一先生



事務 比屋根敦子先生



海染 大城貴勢先生



海染 与儀一枝先生



英語 玉城茜先生



学習支援員 松田康平先生



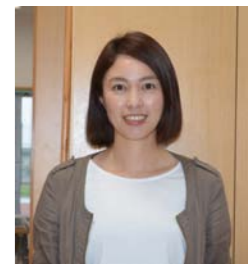
特別支援員 宮城蓮先生



地域支援員 若生恵美子先生



養護 金城倫子先生



養護 岸本 優先生

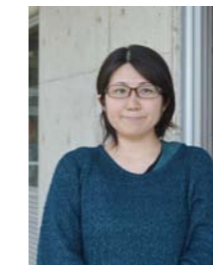
教育委員会



学校教育係 宮城 翔さん



指導主事 平良政次先生



給食センター所長 田仲不二美さん



学校教育係 前田莉代さん

学校教育係長 野原侑也さん
※写真撮影できなくすみません!

ようこそ!大宜味村へ

大宜味小学校



きらめき 宮城 如先生



教務主任 宮里 努先生



校長 新垣郁代先生



1年生担任 久高こずえ先生



3年生担任 宮城紀子先生



5年生担任 森本 葉先生

大宜味村の間切・村図の紹介 1 3

羽地間切から編入された津波村

大宜味村の南端に位置する津波はもともとは羽地間切に属していた。1673年に国頭間切に編入され国頭間切の村に、国頭間切が大宜味間切と改称され大宜味間切の村となった。もとは平南村と津波村の二村があり、集落は南側の平南にあったものが大津波の影響で現在の位置に移動し、1880年以前に平南村と津波村が合併したものと伝えられている。その名残として、一つのアサギを二分して平南村の火の神と津波村の火の神が別々に祀られ、平南アサギ、津波アサギと呼び分けられている。山川元康ノート（1967年村史編さんのための各字調査の記録）には「ノ口地 ガジナ」と記載があり、津波ノ口管轄により祭祀が行われていたことがうかがえる。

また、無人島であった宮城島は津波に含まれ、明治期に寄留してきた土族に土地の配分はなく、宮城の人達は1955年まで津波に小作料を支払っていたという。



津波村は、羽地間切の村であった痕跡が言語にも色濃く残っており、大宜味村よりも羽地地域の発音に近く、ハ行子音のパ行化が最も顕著である。

例えば、返し⇒ペーシ、蜂⇒パチ、羽⇒パニ、蝶⇒パペール、畑⇒パル、冷たい⇒ピギュラーハンなど。

また、拗音（小さいヤユヨ）が入る語彙が多いのも特徴で、歩く⇒アッキュン、海神⇒ウンギャミ、貝⇒イミヤ、蛙⇒アタビキヤ、美しい⇒キュラハンなどの他、アサギマーをアサミギヤーと発音するのも独特である。



右上：国頭郡大宜味間切津波村全圖 縮尺なし 約54×78cm
原名 ①宮城原 ②海染原 ③具志喜納原 ④津波原 ⑤桃原上原
⑥イセイダ原 ⑦カヅナ原 ⑧平南當原 ⑨ウタ原 ⑩湯原
⑪アサガ原 ⑫フタマタ原 ⑬クネンダ原⑭津波山
※1929年に津波から分離する宮城はこの頃津波村のうち。

上：国頭郡大宜味間切津波村全圖
縮尺6,000分の1（一厘一間）約54×78cm 原名同上

右：国頭郡大宜味村津波（具志喜納原、津波原、桃原上原）
約53×78cm（一部を切り取り拡大したもの） 集落部のみ。
区画された宅地に地番が記入されている。

村史編さんだより

第109号 2020年5月1日 大宜味村村史編纂係44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

上原に鎮魂の桜69本

～元護郷隊員の瑞慶山さん 命の恩人の遺族と面会～

第二次大戦末期、14歳から17歳の少年を召集し護郷隊が組織された。陸軍中野学校出身の将校らが率いる護郷隊は秘密戦を旨とし、多野岳、恩納岳などを陣地として、各地でゲリラ的戦闘を展開したものの、米軍の圧倒的な戦力の前に多くの若い命が犠牲になりました。

当時17歳の瑞慶山良光さんも、わずか二週間の訓練を経て前線に立たされた。大宜味村出身者で構成する第二中隊の中隊長は、青年学校の教官でもあった吉浜正定さんで、彼の的確な判断によって多くの命が救われたという。命の恩人である吉浜さんに感謝の



右…父の思い出を語る武重さん
左…戦中戦後の出来事を語る良光さん

気持ちを伝えたいと切望していたが恩師はすでに鬼籍の人、せめて遺族に会いたいという悲願が、4月1日（水）、上原公民館に吉浜さんの二男武重さんが駆けつけ実現しました。

当時の様子を語る瑞慶山さんの記憶は鮮明で、万座毛に駐屯していた米軍の戦車部隊攻撃の際、教え子を犬死させることはできないと吉浜さんが撤退を命じ、第二中隊（大宜味）と第三中隊（東）の60名もの命が救われたこと、手榴弾の破片で負傷した瑞慶山さんに肩を貸し、陣地に連れ帰り軍医の治療を受けさせてくれたこと、吉浜さんが先頭になって米軍の包囲網をかいくぐり命からがら逃げてきた体験など、「吉浜さんがいなかったら今僕は生きていない」と何度も繰り返していました。

武重さんは、「親父は子供に戦争の話はしなかった。安富祖の護郷隊碑を訪ねる時も、子供達は車に残し一人で手を合わせていた」といい、大人になって資格をとるため自衛隊に入りたいと言った時に、「行くなら親子の縁を切ってから行け」と言われ断念したことや、仕事で顔を合わせた山原の大工さんに「正定さんに命を助けられた」と何度か言われた経験など、「全てが今日の話で繋がった」と感慨深げにうなずいていました。

戦争が終わっても瑞慶山さんの苦しみは続き、17歳の少年には抱えきれない地獄の体験は彼の精神を破綻させた。夜中に奇声を発して山や海に飛び込んだり、自損行為を繰り返す彼を人々は“戦争幽霊”と呼んだ。訪ねてきた兄の戦友が座敷牢のような所に閉じ込められていた瑞慶山さんを見て、宜野座の軍病院で治療を受けさせたお陰で、運よく回復することができたのだそうです。

瑞慶山さんは、戦争の真実、護郷隊の軌跡、沖縄の精神障がいを取り巻く状況などを、後世に伝えていく使命のために生かされている。護郷隊で亡くなった69名の戦友の慰霊のために植えた69本の桜の世話をしながら、命がある限り語り続けていくと決意を新たにしました。瑞慶山さんの証言は、沖縄スパイ戦史（三上智恵・大矢英代監督2018年）に収録されており、上原では過去2回の上映会が行われました。また、この度、同名の書籍も発刊され、大宜味村図書室にも置く予定ですのでご活用ください。





「しまふとうば」ぬくとう 52



うみがみー

うみがみー

ウミガメの産卵シーズンになりました。大宜味村では通常5-9月は産卵、7-11月は孵化・脱出が見られます。ウミガメの調査を始めて今年で25年目になります。大宜味村にはアカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの3種類の産卵が確認されており、全国的にみても大変貴重な産卵場所になっています。2011年には喜如嘉の浜で3種類の産卵がありましたが、3種類が同じ年に産卵が確認されたのは全国でもおそらく喜如嘉の浜だけです。

2015年には産卵にやってきたアオウミガメが、砂浜から国道まで入り込んで交通事故にあって死んでしまうということもありました。事故にあった母ガメの体内にあった卵は美ら海水族館で人工孵化に供したところ、無事に20匹余の子ガメが孵化し、後日母ガメが事故にあった国道近くの浜から放流しました。母ガメの交通事故死と死んだ母ガメから取り出した卵が孵化したのは世界的にも初めての事らしく、国際ウミガメ会議等でも大きな話題になったそうです。

やんばるは世界自然遺産の登録に向けた動きがあり、ノグチゲラ、ヤンバルクイナクイナ等の貴重な動植物に視線が注がれていますが、貴重なのは山の自然だけではなく、川や砂浜、イノーまで含めた部分も大変貴重です。ウミガメについて言えば、沖縄県全体で産卵するウミガメの約半数はやんばるの砂浜で産卵します。

今、やんばるの砂浜の多くが砂の流出という大きな問題を抱えています。ウミガメは砂の深度が浅ければ産卵しません。そしてウミガメの産卵シーズンは人間の砂浜でのキャンプシーズンとも重なります。キャンプ等の明かりは母ガメ、子ガメにとって大変危険な存在です。母ガメは明かりを嫌ってその近くには上陸しません。子ガメは逆に明かりに向かって行き、海に帰れなくなります。

～ 若夏なりば うみがみーたーや 潮ーんあーち 暗しみなていから 浜ーちあがてい 黄金ぬふが(卵)ん いきさんなちから ぬんねんぐとうしー 海ーちへーゆん はーみんくわー (子ガメ)ぬー ふどういるにげーんはきて～



今月の生きもの

コウノトリ：コウノトリ科



おはようございます。私、コウノトリでございます。

みなさんも一度は聞いたことのある私の名前。そして、赤ちゃんを運んでくることが有名？な私。って、実は赤ちゃんを運ぶのは私ではなく、近縁種のシュバシコウという鳥です。私はとても大きくて羽根を広げると2m近くもあるんです。飛んでいる姿は迫力満点♪越冬するために稀に日本に来るのだけれど、本来ならもう繁殖地に向かっているところ。ここが居心地良すぎて長居してます。このまま留まっちゃおうかな???

5月の行事予定

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1日(金) 区長会 | 10日(日) 母の日 |
| 3日(日) 憲法記念日 | 15日(金) 沖縄本土復帰記念日 少年を守る日 |
| 4日(月) みどりの日 | 16日(土) おきなわ地域教育の日 |
| 5日(火) こどもの日 | 17日(日) 家庭の日・ファミリー読書 |
| 6日(水) 振替休日 | 22日(金) 春の遠足(園) |
| 7日(木) 小・中始業式 中学校入学式 | 27日(水) 村老人グラウンドゴルフ大会 |
| 8日(金) 小学校入学式 | 28日(木) 定例教育委員会議 |

